

ICFの普及に関する取り組みについて

向野 雅彦

藤田医科大学医学部

リハビリテーション医学I講座

生活機能分類普及推進検討ワーキンググループの取り組み

ICD-11第V章国内適用のための実用的な評価ツール作成：April 2019~March 2021

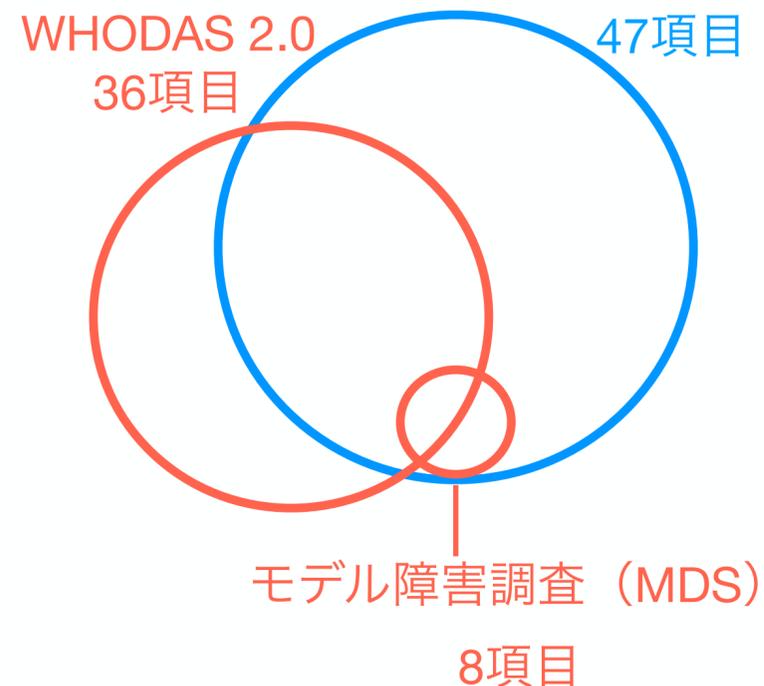


ICD-11において、生活機能評価に関する補助セクション（第V章）が新設



ICD-11第V章の構成

一般的機能の構成要素



1. WHOが公表するICF関係資料の翻訳案作成

1-1) ICD-11第V章の仮訳案の作成

1-2) ICF2020の仮訳案の作成

(2019-2021の期間、集中的に行われたアップデートへの協力
および改訂版の翻訳対応)

2. ICD-11第V章の具体的な活用案作成

2-1) ICD-11第V章の全項目の評価ツールの作成

WHODAS2.0 & MDS：質問紙に基づく項目

- ICD-11のウェブサイト上で公開されている、項目に紐づいた質問文の翻訳

一般的機能の構成要素：ICFの分類に基づく項目

- 各分類項目の内容についての簡潔で直感的な説明文*の作成
- 各分類項目採点のための採点リファレンスガイド作成

2-2) 国内でのフィールドテストに必要な教育資料及びツールの作成

2-3) フィールドテストの実施

2-4) ICFリコードルール（既存の評価スケールとの項目対応ルール）の提案

ICD-11第V章全項目に
実用的な評価ツールを準備

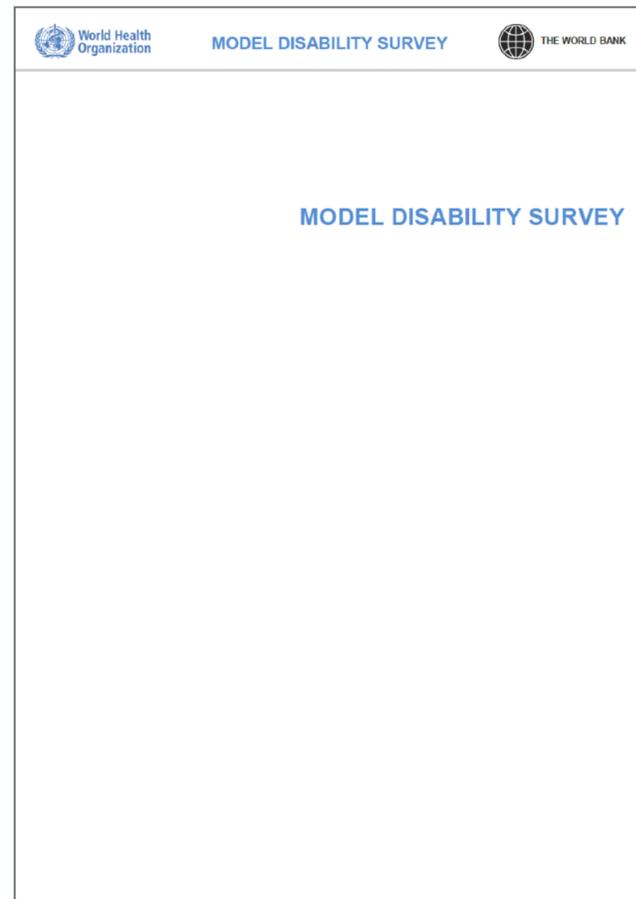
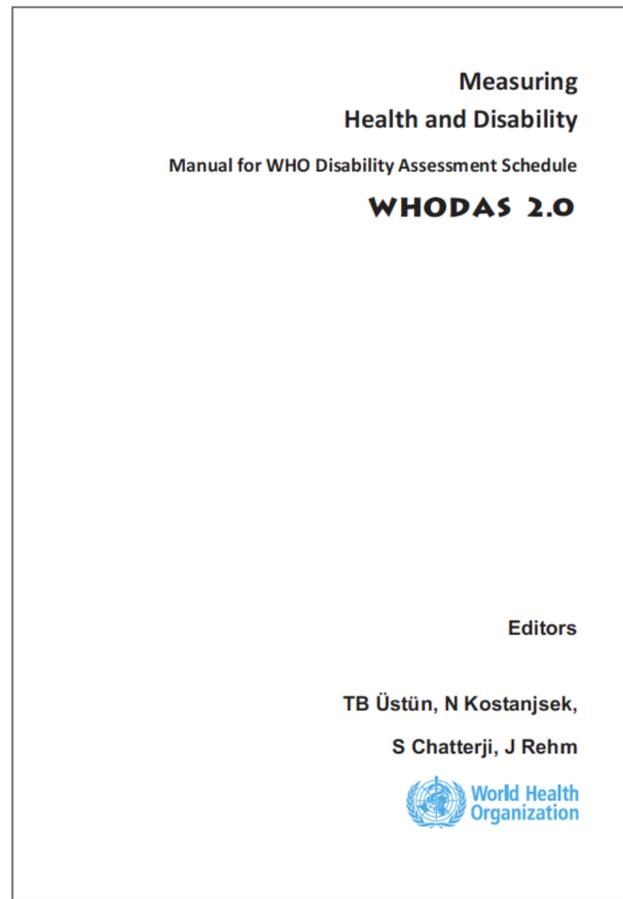
*簡潔で直感的な説明文...

ICFの各分類項目の定義を直感的でわかりやすくするために、臨床家のコンセンサスミーティングで作成された説明文

臨床評価ツールの準備

WHODAS2.0 と MDS :
質問紙に基づく

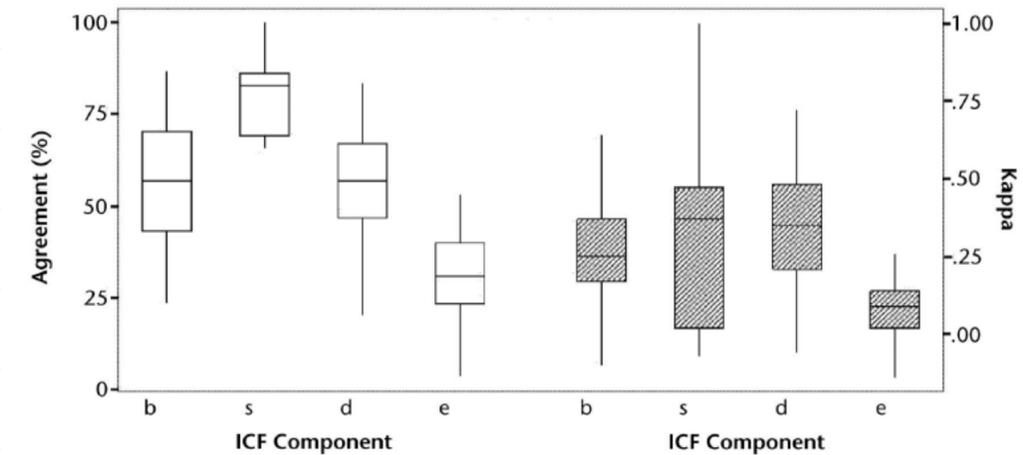
一般的機能の構成要素 :
ICFに基づく



ICFの評価点

0点	問題なし	(0-4%)
1点	軽度の問題	(5-24%)
2点	中等度の問題	(25-49%)
3点	重度の問題	(50-95%)
4点	完全な問題	(96-100%)
8点	詳細不明	
9点	非該当	

信頼性の低さ



Starrost et al, 2008

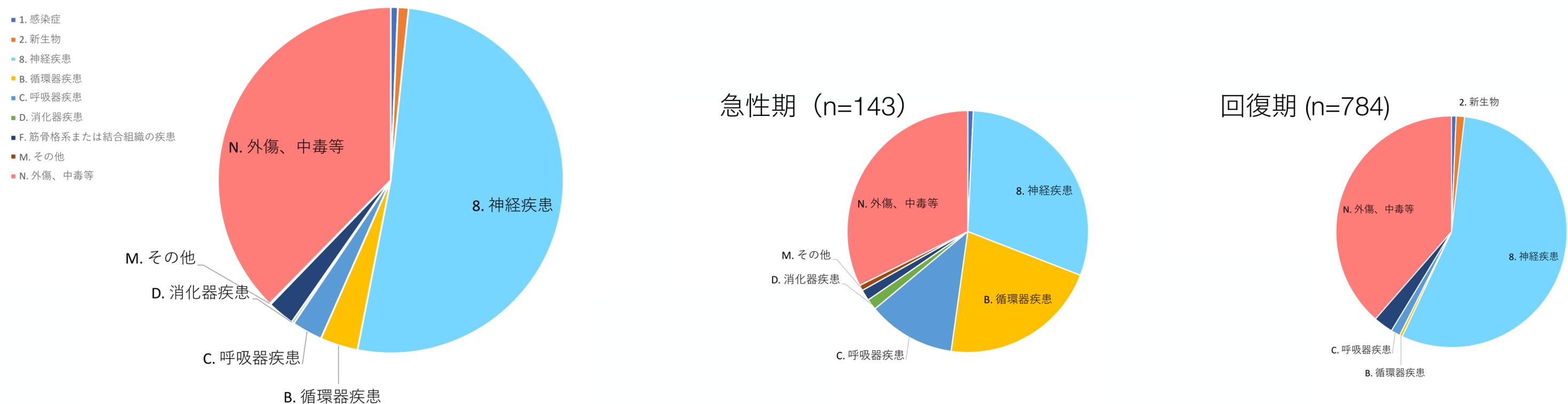
質問文の翻訳を実施

採点リファレンスガイド 作成

ICD-11第V章実用のためのフィールドテスト

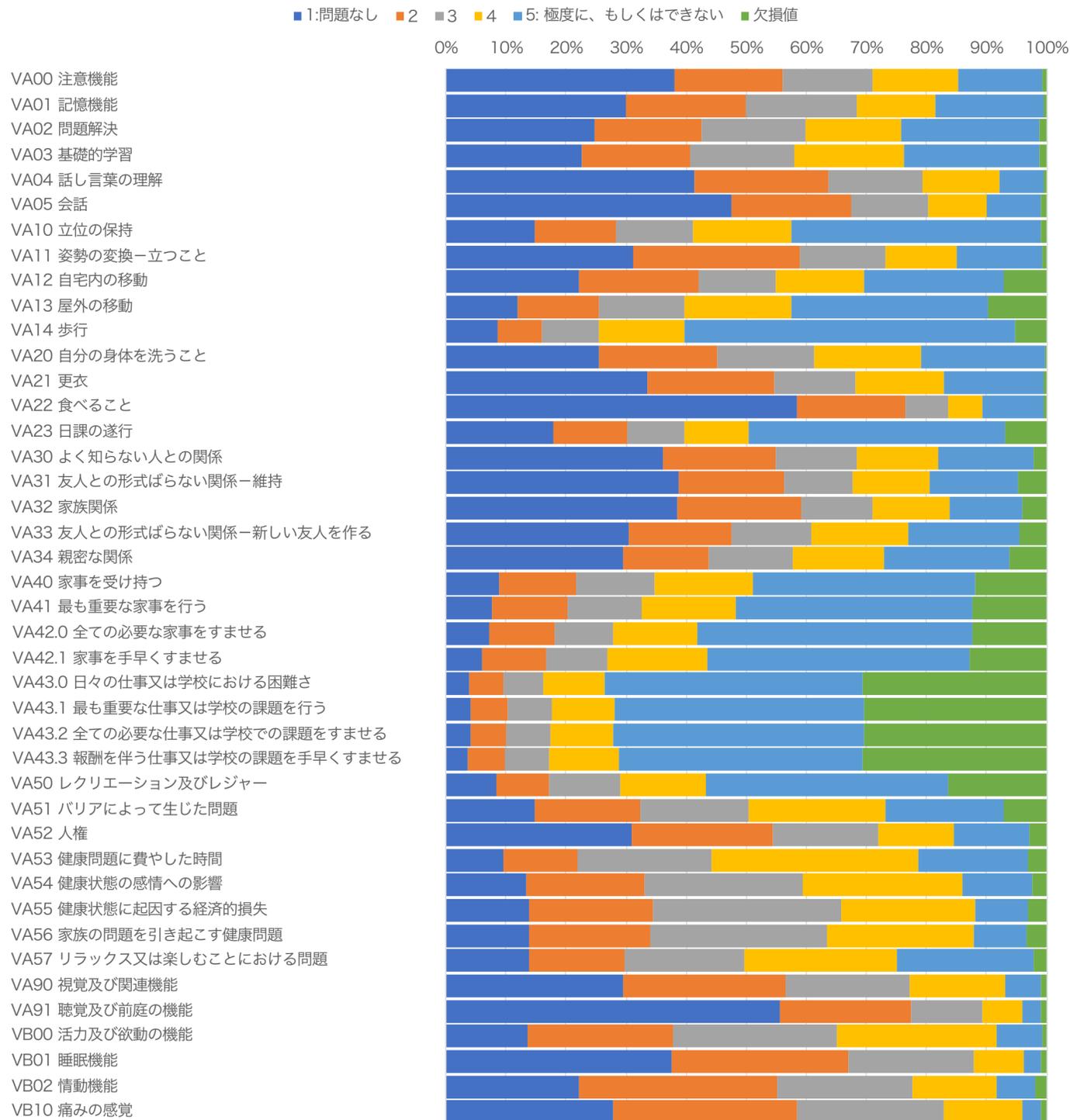
対象：急性期および回復期におけるリハビリテーション実施中の入院患者
20病院 1102名

評価実施内容： - ICD-11 V章の一般的機能の構成要素
(作成した採点リファレンスガイドを使用)

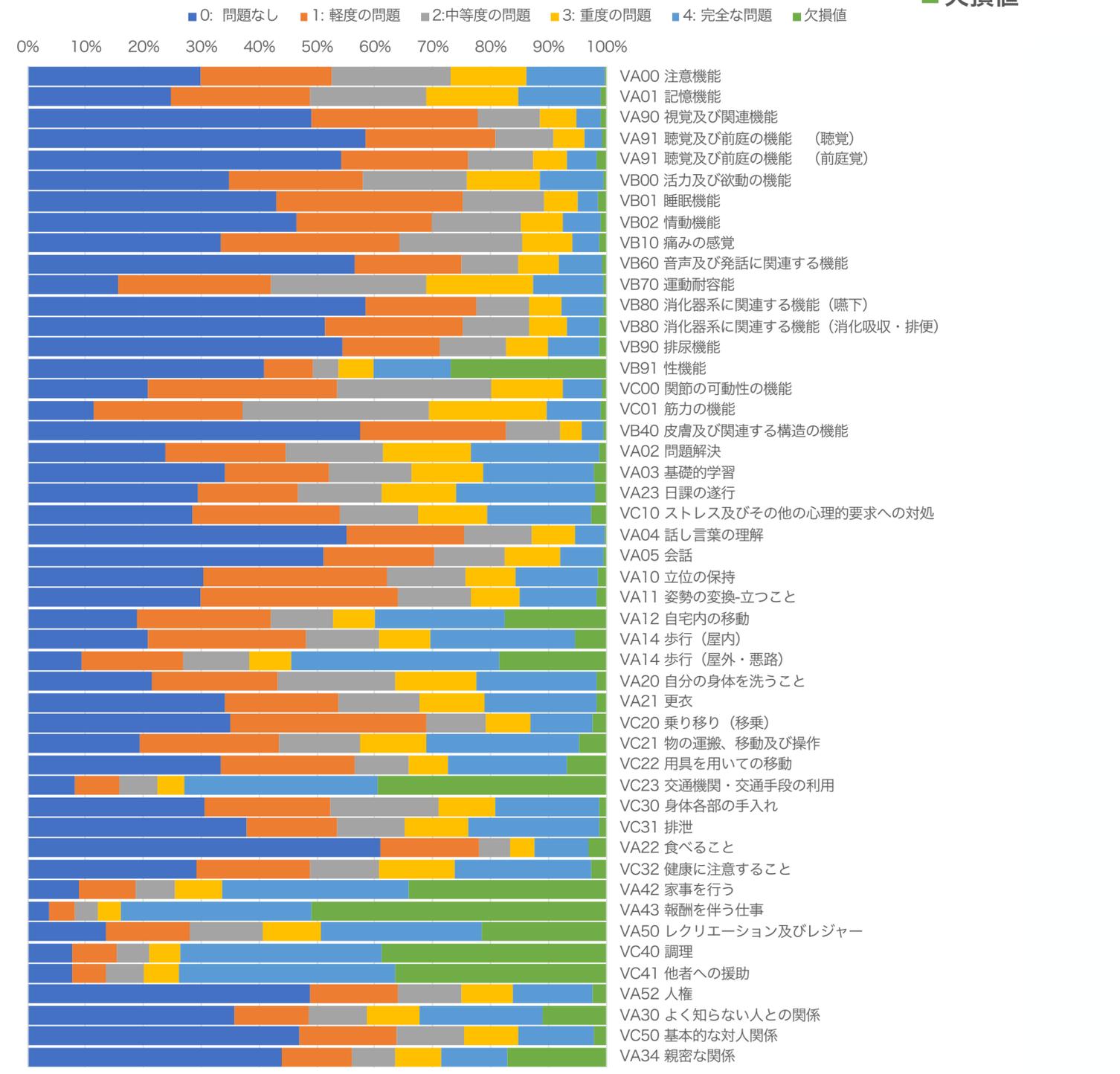


ICD-11第V章実用のためのフィールドテスト

WHODAS2.0+MDS

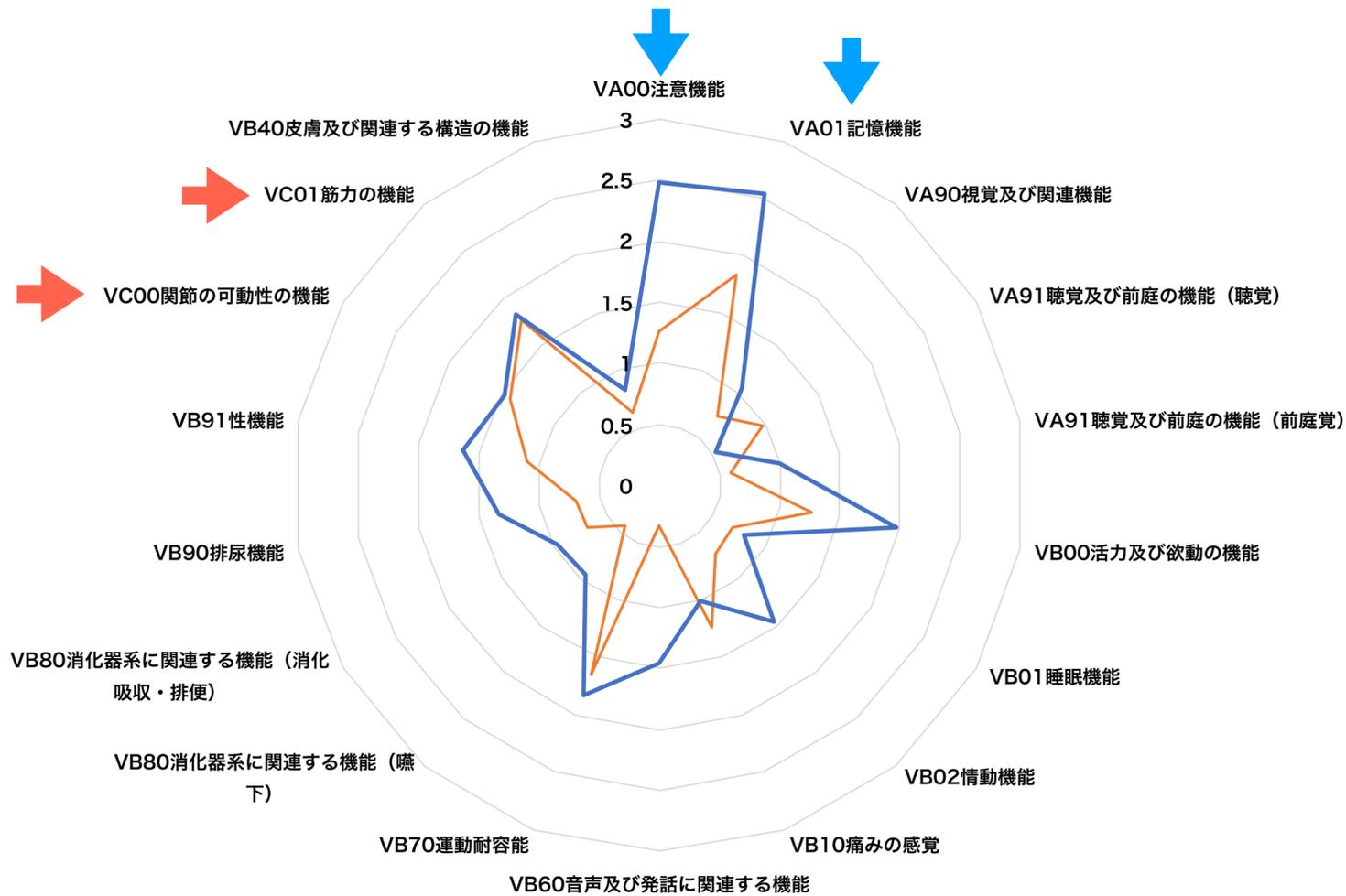


一般的機能の構成要素

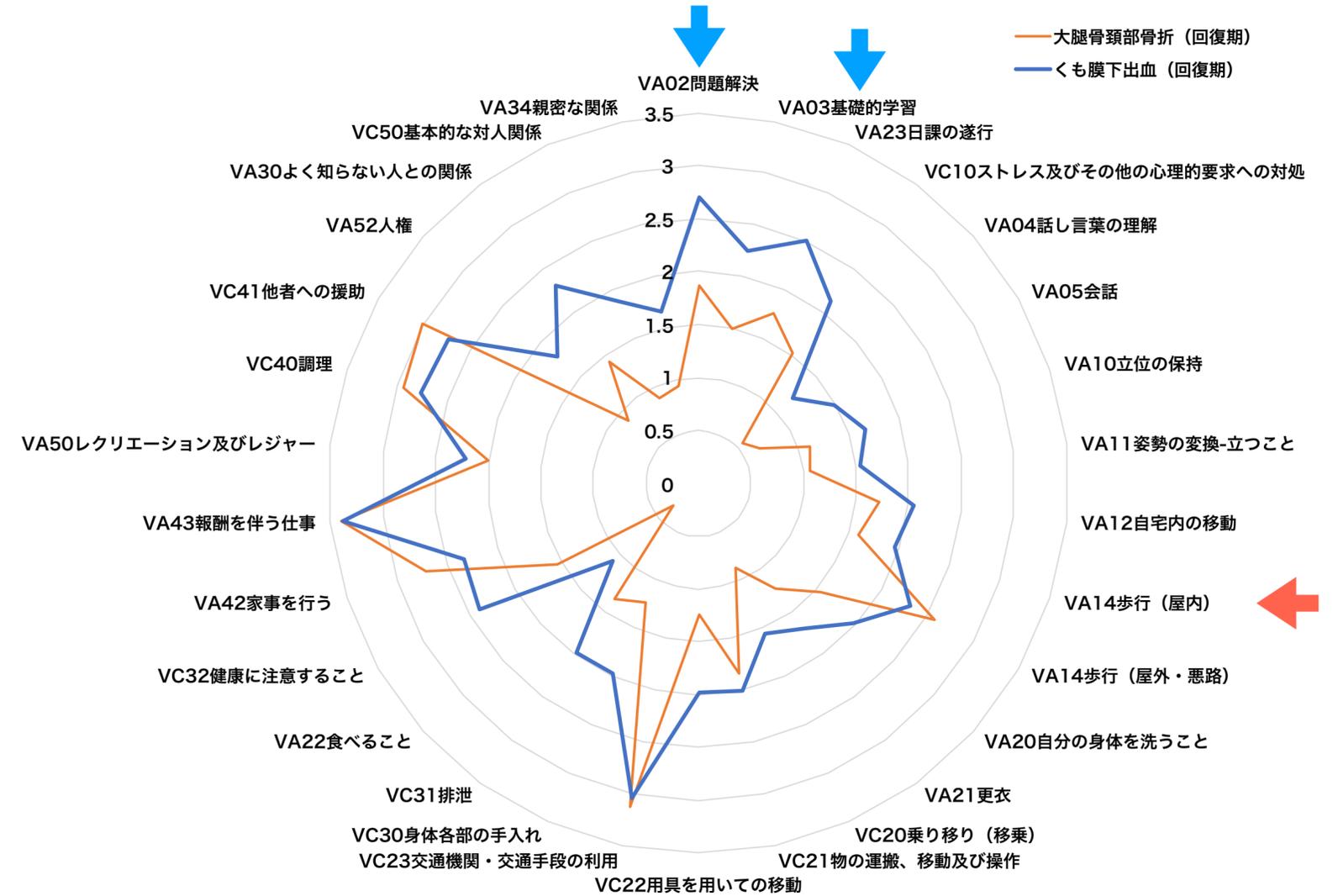


疾患による生活機能プロファイルの違い

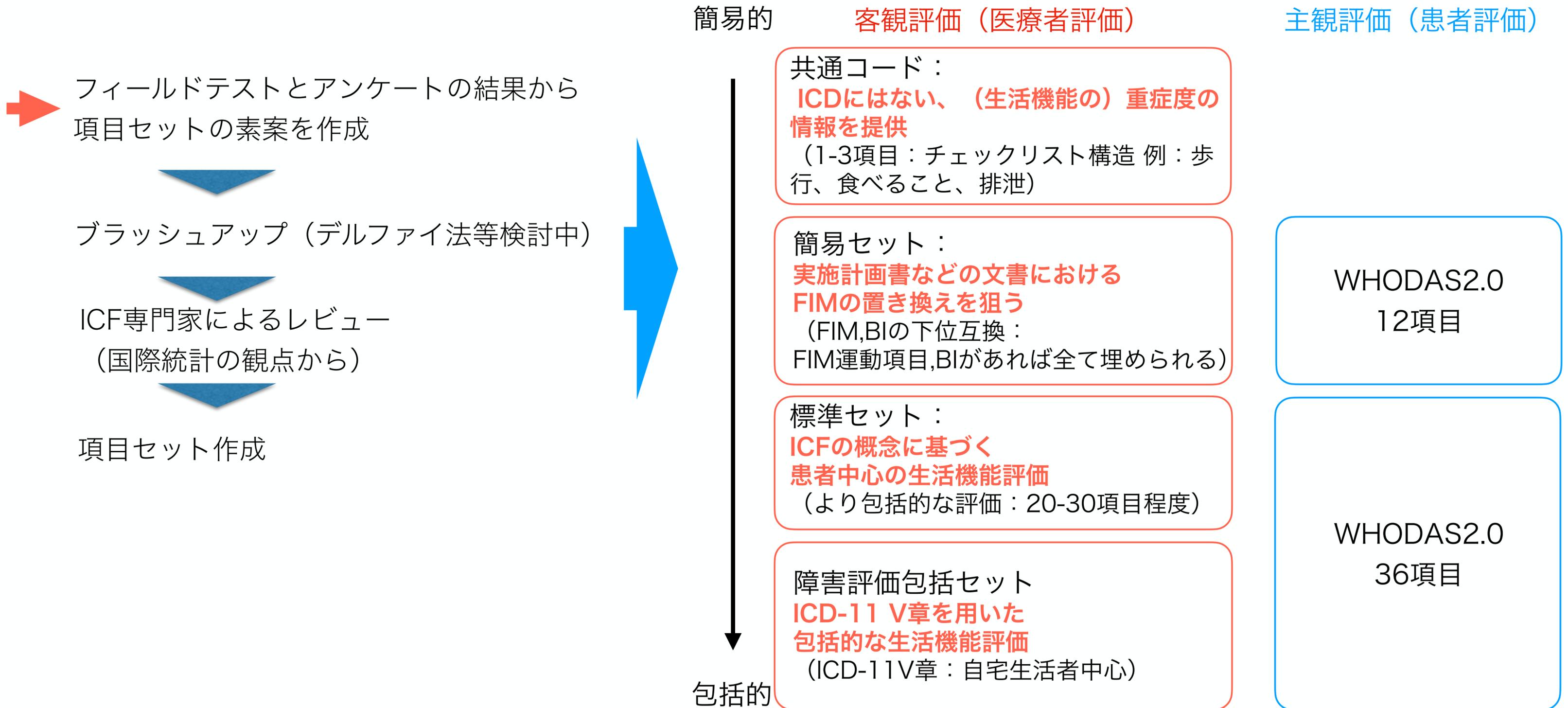
心身機能



活動と参加



ICD-11Vの疾患横断的な評価セットライブラリ開発



医療者対象アンケートの実施

臨床で求められる生活機能評価とは？

対象：リハビリテーション関連医療職 20病院 169名

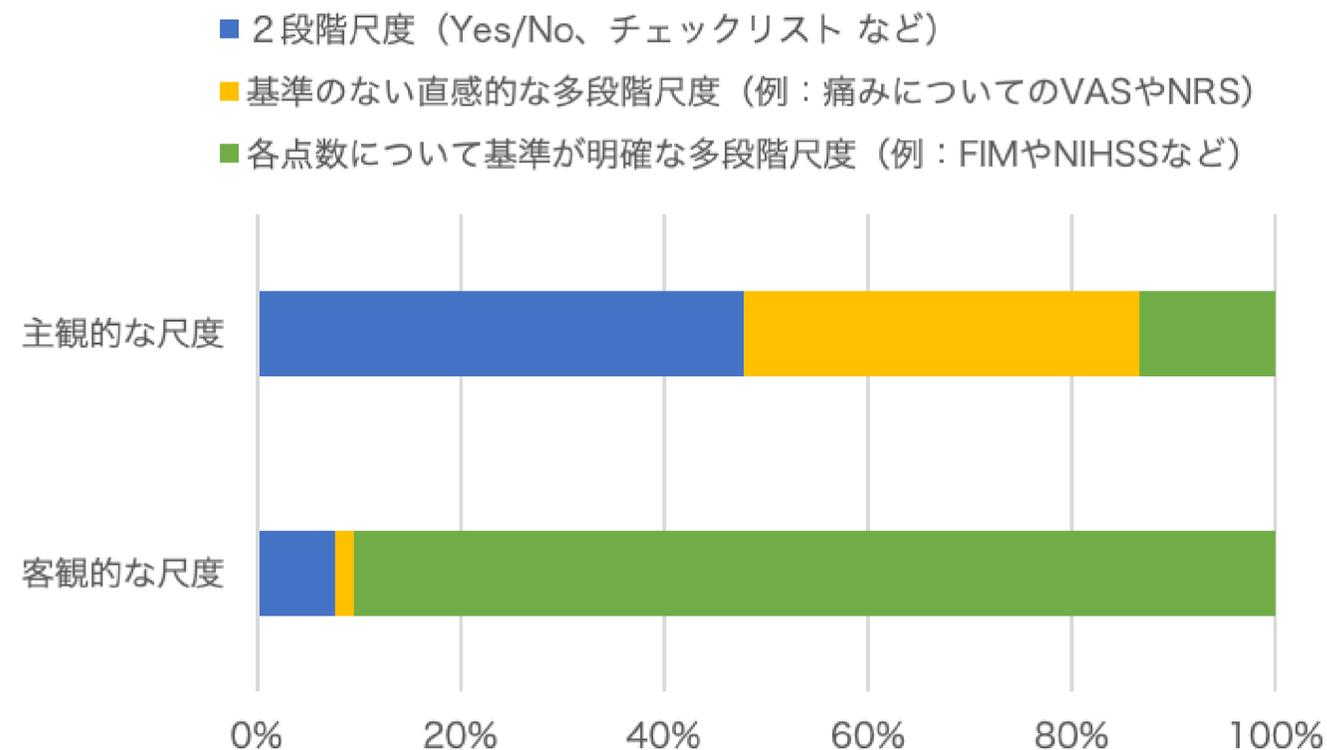
年齢：33.7±10.3

性別（男性/女性）：87/81

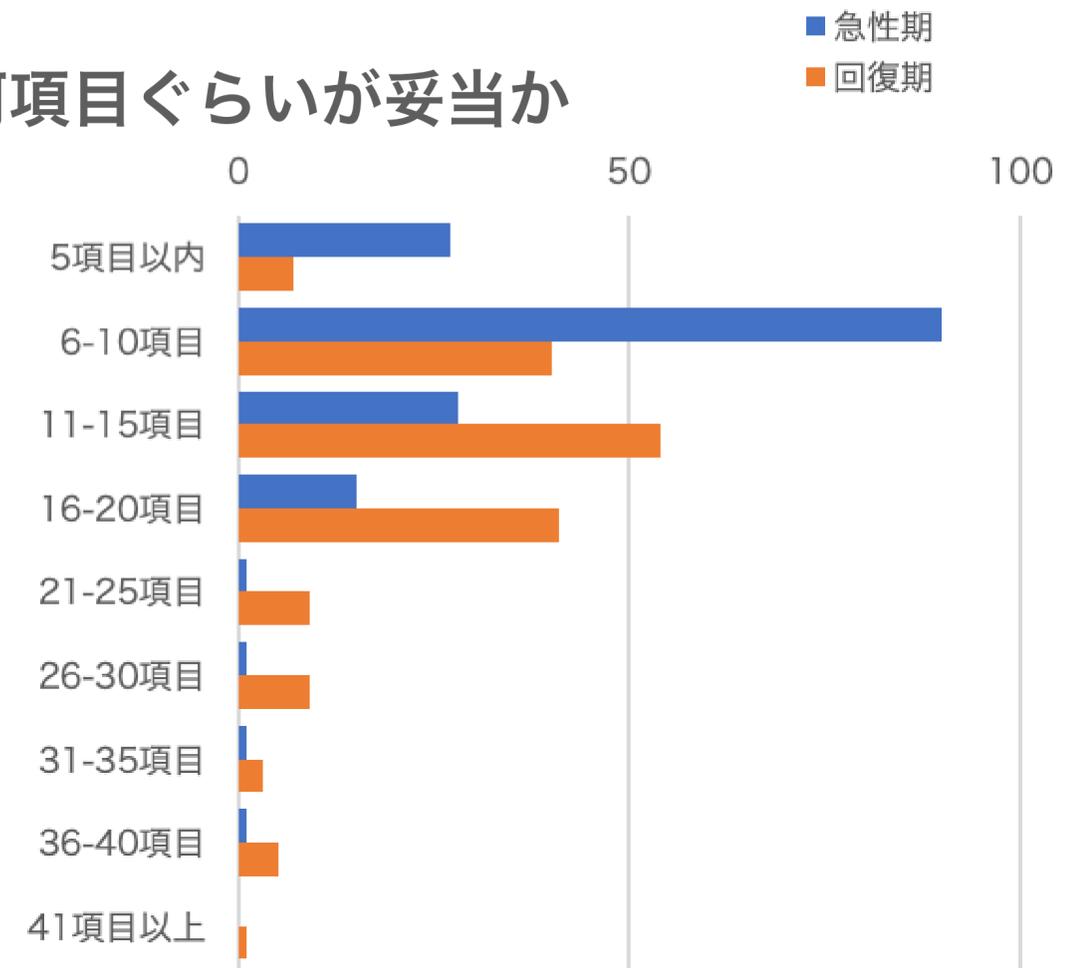
職種：医師 29名、理学療法士 74名、作業療法士 49名、言語聴覚士15名

経験年数：10.8±9.4 年

どのようなスケールがよいか



何項目ぐらいが妥当か



医療者対象アンケートの実施

患者の退院環境別に重要な生活機能

患者が

1) 家族が常にいる

2) 日中のみ一人

3) 一人暮らし

それぞれの場合に重要な生活機能とは？

心身機能

	同居	日中独居	独居	平均
VA00 注意機能	33.7%	77.5%	91.7%	67.7%
VA01 記憶機能	24.9%	75.1%	85.8%	61.9%
VA90 視覚及び関連機能	36.1%	64.5%	79.3%	60.0%
VA91 聴覚及び前庭の機能 (聴覚)	25.4%	46.2%	68.0%	46.5%
VA91 聴覚及び前庭の機能 (前庭覚)	29.0%	52.7%	66.3%	49.3%
VB00 活力及び欲動の機能	40.8%	52.1%	76.9%	56.6%
VB01 睡眠機能	57.4%	51.5%	66.9%	58.6%
VB02 情動機能	69.2%	63.3%	70.4%	67.7%
VB10 痛みの感覚	39.6%	43.8%	49.1%	44.2%
VB60 音声及び発話に関連する機能	32.5%	37.9%	60.9%	43.8%
VB70 運動耐容能	42.0%	63.3%	82.8%	62.7%
VB80 消化器系に関連する機能 (摂食)	50.3%	66.9%	74.0%	63.7%
VB80 消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)	56.2%	66.9%	72.2%	65.1%
VB90 排尿機能	64.5%	77.5%	85.8%	75.9%
VB91 性機能	7.1%	11.2%	16.0%	11.4%
VC00 関節の可動性の機能	32.5%	43.2%	56.8%	44.2%
VC01 筋力の機能	52.7%	72.2%	79.9%	68.2%
VB40 皮膚及び関連する構造の機能	16.0%	18.3%	40.2%	24.9%
特に該当する項目はない	3.6%	1.8%	2.4%	2.6%

活動と参加

	同居	日中独居	独居	平均
VA02 問題解決	30.2%	83.4%	94.7%	69.4%
VA03 基礎的学習	7.7%	23.7%	52.1%	27.8%
VA23 日課の遂行	17.2%	63.9%	80.5%	53.8%
VC10 ストレス及びその他の心理的要求への対処	30.8%	37.3%	59.8%	42.6%
VA04 話し言葉の理解	47.9%	45.0%	73.4%	55.4%
VA05 会話	34.3%	40.8%	66.9%	47.3%
VA10 立位の保持	37.9%	53.3%	67.5%	52.9%
VA11 姿勢の変換-立つこと	43.8%	66.9%	78.7%	63.1%
VA12 自宅内の移動	37.3%	74.6%	88.2%	66.7%
VA14 歩行 (屋内)	25.4%	42.0%	59.8%	42.4%
VA14 歩行 (屋外・悪路)	10.1%	17.2%	43.8%	23.7%
VA20 自分の身体を洗うこと	16.0%	18.9%	52.7%	29.2%
VA21 更衣	16.6%	30.2%	65.1%	37.3%
VC20 乗り移り (移乗)	46.2%	71.6%	79.3%	65.7%
VC21 物の運搬、移動及び操作	12.4%	43.8%	68.0%	41.4%
VC22 用具を用いての移動	26.6%	53.8%	72.8%	51.1%
VC23 交通機関・交通手段の利用	4.1%	9.5%	33.1%	15.6%
VC30 身体各部の手入れ	13.6%	20.7%	56.8%	30.4%
VC31 排泄	47.9%	82.2%	84.6%	71.6%
VA22 食べること	50.3%	77.5%	84.6%	70.8%
VC32 健康に注意すること	11.2%	34.9%	66.9%	37.7%
VA42 家事を行う	5.9%	18.9%	55.6%	26.8%
VA43 報酬を伴う仕事	3.0%	4.1%	18.9%	8.7%
VA50 レクリエーション及びレジャー	10.1%	18.9%	32.0%	20.3%
VC40 調理	4.7%	11.2%	39.6%	18.5%
VC41 他者への援助	4.1%	7.7%	18.9%	10.3%
VA52 人権	34.3%	32.0%	47.3%	37.9%
VA30 よく知らない人との関係	7.1%	11.2%	39.6%	19.3%
VC50 基本的な対人関係	29.6%	30.8%	47.3%	35.9%
VA34 親密な関係	20.1%	18.3%	25.4%	21.3%
d455 移動	8.9%	20.7%	40.8%	23.5%
d410 姿勢の変換	27.8%	58.0%	73.4%	53.1%
d415 姿勢の保持	36.1%	63.3%	72.8%	57.4%
いずれかの移動	46.2%	81.7%	91.1%	73.0%
該当する項目はない	10.7%	1.2%	1.2%	4.3%

評価セットライブラリ素案

全て埋まる

分類

生命維持に必要な
3つの活動が
自立している

生命維持に必要な
3つの活動が
自立していない
(3つのうち一つでも非自立)

障害者に代わる概念

共通コード (3項目)

DPC用の項目 (疾患の重症度指標)

移動 (歩行、用具を用いた移動)
歩行自立
車椅子自立 (移乗含む)
非自立

食べること
自立
非自立

排泄
自立
非自立

疾病統計に応用

簡易セット (8項目)

BI準拠の急性期を含めた項目

食べること
移乗
身体各部の手入れ
排泄
(トイレ動作、排泄コントロール)
自分の身体を洗うこと
歩行/用具を用いての移動
更衣

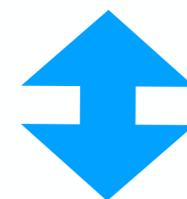
実施計画書などの文書における
FIMの置き換えを狙う

標準セット(23項目)

ICF一般セット30項目版、アンケートで同居、独居共50%以上が必要と答えた項目のうち、調査で欠損値5%以下の項目

活力及び欲動の機能
睡眠機能
情動機能
痛みの感覚
運動耐容能
消化器系に関連する機能 (摂食)
消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)
排尿機能
関節の可動性の機能
筋力の機能
日課の遂行
ストレス及びその他の心理的要求への対処
立位の保持
姿勢の変換-立つこと
自分の身体を洗うこと
更衣
乗り移り (移乗)
歩行/用具を用いての移動
身体各部の手入れ
排泄
食べること
健康に注意すること
基本的な対人関係

ICFの概念に基づく患者中心の生活機能評価

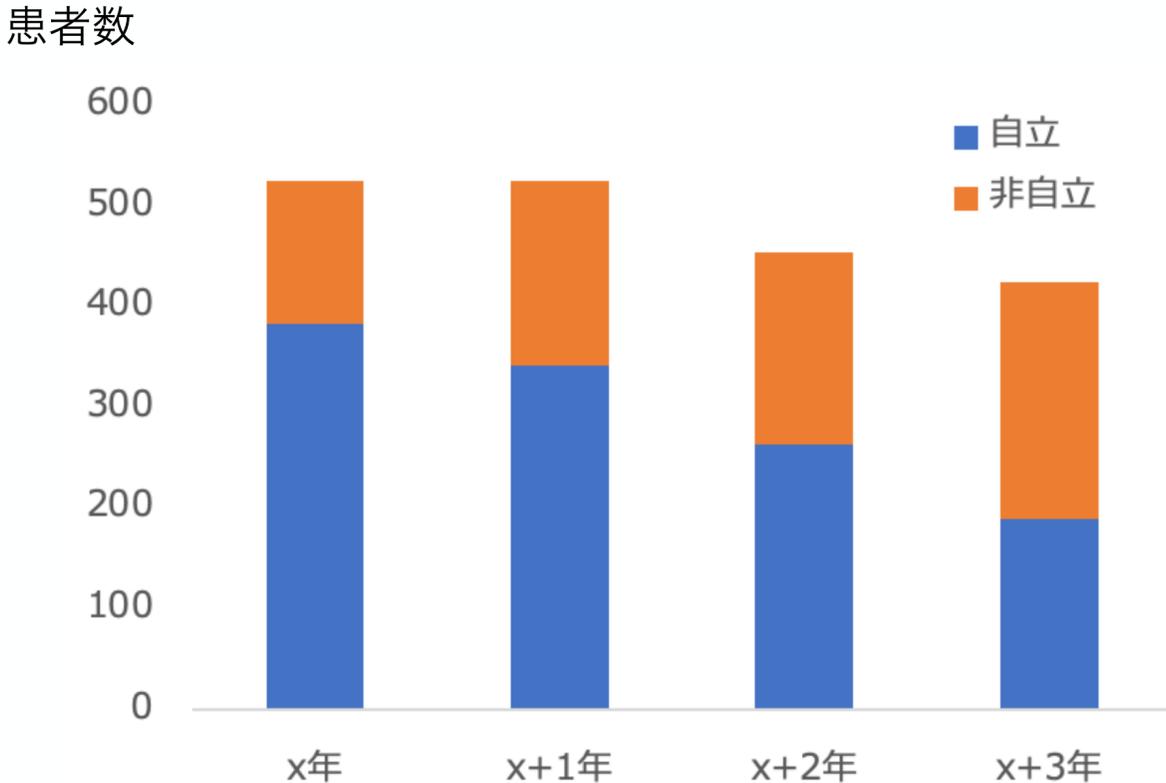


BI、FIMと互換性あり

疾病統計への応用

疾病統計に重症度の情報を加える

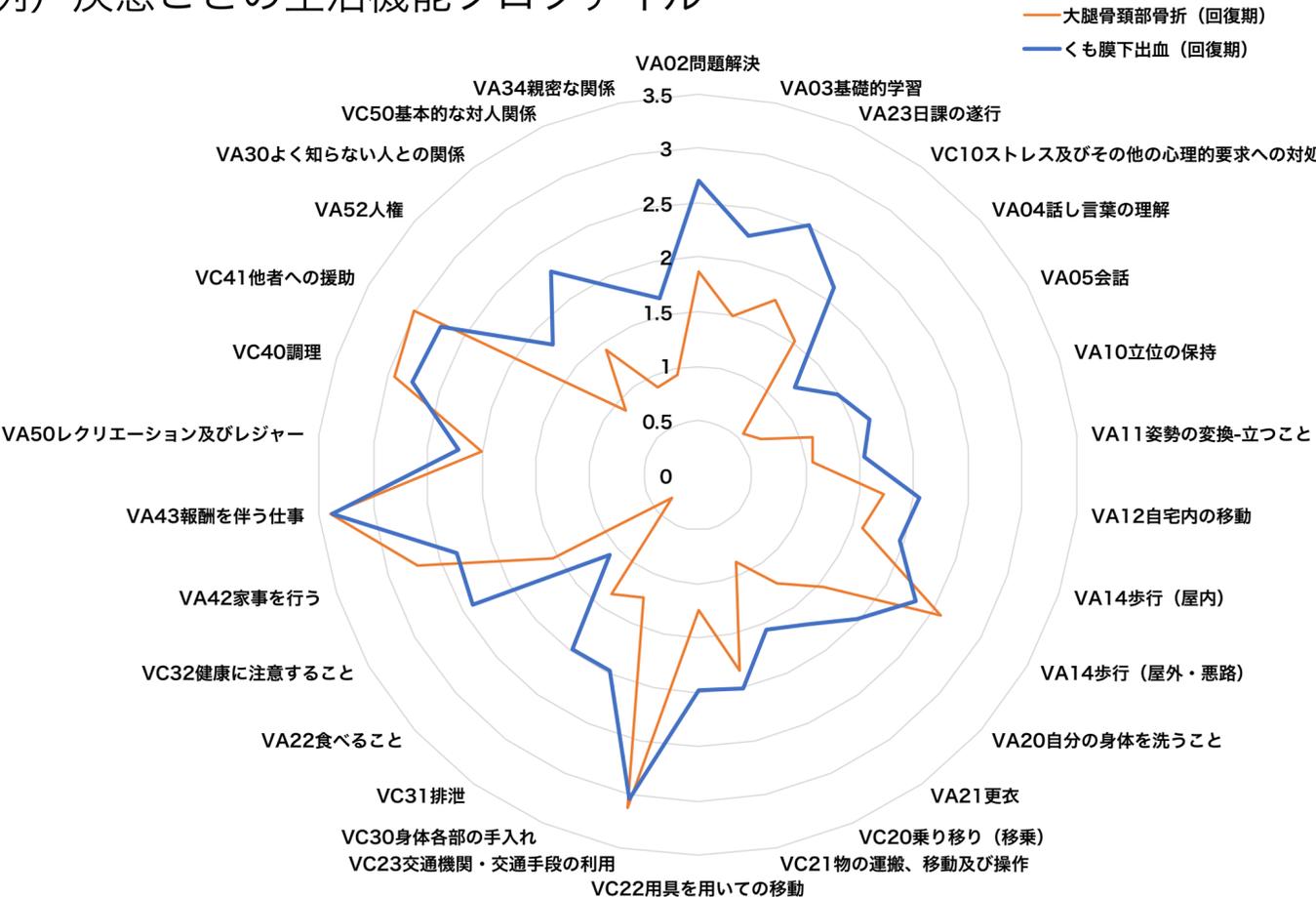
(例) 疾病の発生 + 自立の割合



共通コード/自立度分類

疾病による生活機能の問題についての統計

(例) 疾患ごとの生活機能プロファイル



既存のスケールとの互換性

- 既存のスケールをICFの項目に紐付けするための Linking ruleが作成されているが (Cieza et al, 2002)、内容は基本的な原則にとどまっている

- 情報の互換性のため、既存のスケールがどの項目に対応するか決めるための具体的なルール案と実例を作成

→ リコード (点数換算) の手法の開発へ

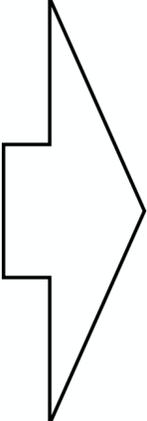
例)

1. 測定値をICFの項目に紐付けする前に、ICFの概念と分類学的な基礎、および定義を含めた詳細な分類の章、領域、項目について、十分な知識を身につけておかなければならない。

2. 健康状態の指標の各項目は、最も正確なICFの項目に紐付けされていなければならない。

3. 1つの項目が異なる構成要素を含む場合、各構成要素の情報がリンクされている必要がある。

-
-
-



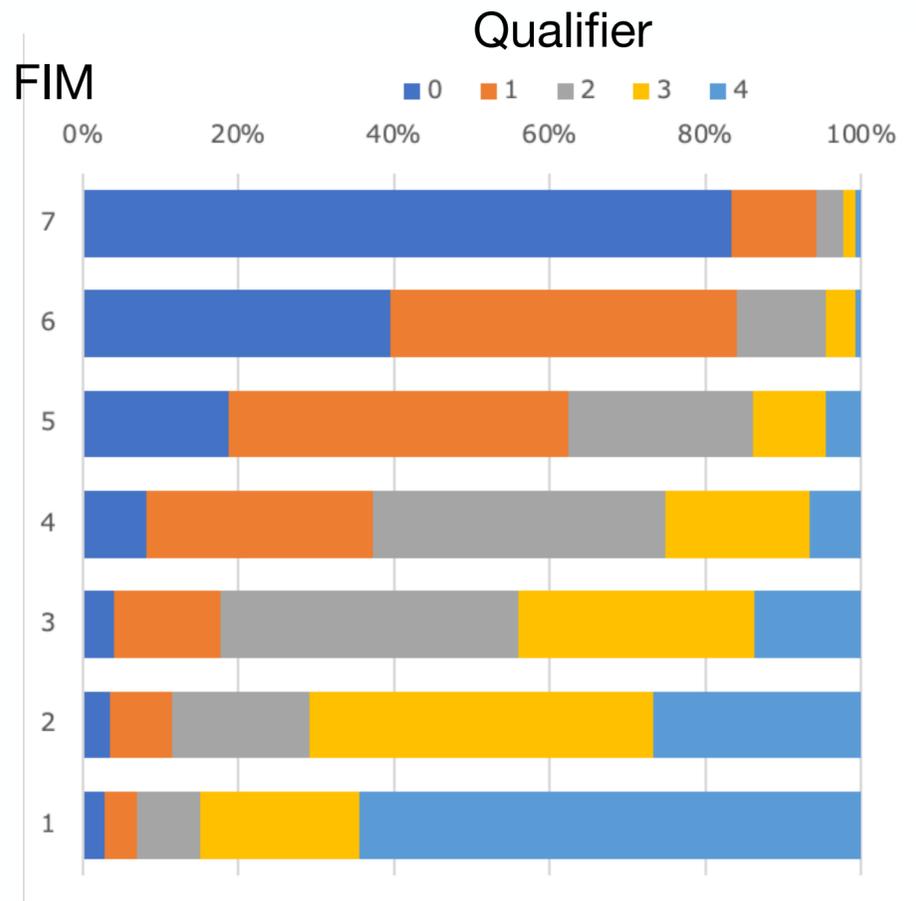
FIM	ICF		ICD-11第V章	
食事	d550	食べること	VA22	食べること
	d560	飲むこと		
整容 清拭	d520	身体各部の手入れ	VC30	身体各部の手入れ
	d510	自分の身体を洗うこと	VA20	自分の身体を洗うこと
更衣 (上半身) 更衣 (下半身)	d540	更衣	VA21	更衣
トイレ	d530	排泄	VC31	排泄
排尿コントロール	b620	排尿機能	VB90	排尿機能
排尿コントロール	b530	排便機能	VB80	消化器系に関連する機能
ベッド、椅子、 車椅子 トイレ 浴槽、シャワー	d420	乗り移り (移乗)	VC20	乗り移り (移乗)
歩行、車椅子	d450	歩行	VA14	歩行
	d465	用具を用いての移動	VC22	用具を用いての移動
階段	d451	階段の上り下り		対応項目なし
理解	d310	話し言葉の理解	VA04	話し言葉の理解
	d315	非言語メッセージの理解		
表出	d330	話すこと	VA05	会話
	d335	非言語メッセージの表出		
社会的交流	d710	基本的な対人関係	VC50	基本的な対人関係
問題解決	d175	問題解決	VA02	問題解決
記憶	b144	記憶機能	VA01	記憶機能

既存のスケールとの互換性

既存のデータ、文献の整理

議論を行うプロセスを定義

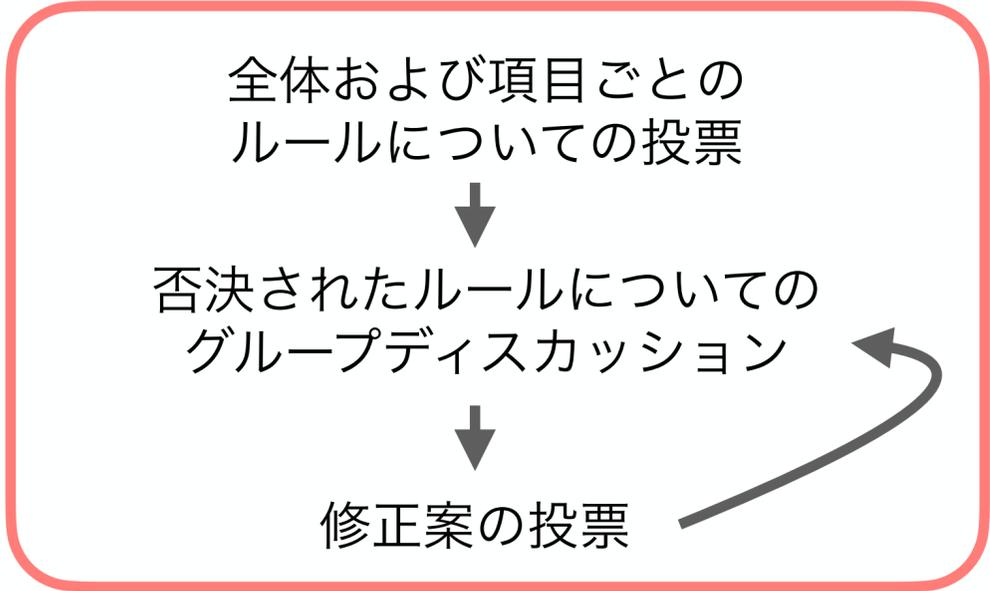
多職種パネルでの議論



草案の作成



コンセンサスミーティング



専門家のレビュー



完成

WHO-DAS 2.0 平易な日本語バージョン作成

より平易な言葉、
具体例やイラストの追加
(可能な限り原本に準拠)

アプリ作成

例

過去30日間、自分の健康状態が原因で、日々の生活でみられる問題を分析し、解決策を見つけることはどれくらい困難でしたか

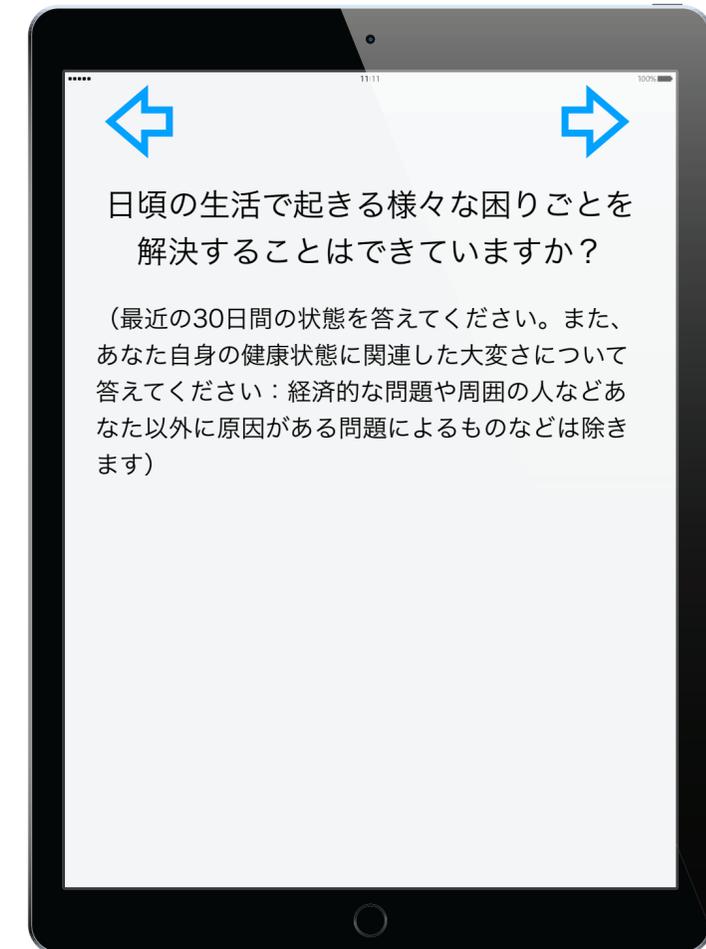


日頃の生活で起きる様々な困りごとを解決することはできていますか？

(最近の30日間の状態を教えてください。また、あなた自身の健康状態に関連した大変さについて教えてください：経済的な問題や周囲の人などあなた以外に原因がある問題によるものなどは除きます)

困りごととその解決の例

- 人間関係のトラブルが生じたので相手と話して誤解を解いた
- 人と会う約束があったが、急に都合が合わなくなったので電話して予定の変更を依頼した
- 蛍光灯が切れたので替えを購入して交換した/家族に依頼して交換してもらった
- 入院中で動けないのに喉が渴いて困ったが、ナースコールを押して看護師に水を持ってきてもらった



教育ツールの作成

ICF/ICD-11Vの基礎知識の教育資料

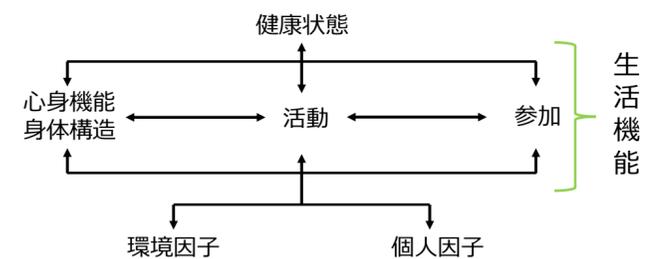
国際生活機能分類とは

国際生活機能分類:

International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF)

- 2001年5月、世界保健機関（WHO）総会において採択。
- 人間の生活機能と障害を、アルファベットと数字を組み合わせたコードで分類（全部で1,600以上の項目がある）。
- 世界共通の尺度を用いることで医療保健統計に役立つ。
- 生活機能とは「人が生きること」全体であり、健康とは「生活機能」全体が高い水準にあることを示す。

生活機能と障害と健康の生物・心理・社会的統合モデル



構成要素は双方向性に作用しあっている

採点用アプリケーション



ICF e-learning tool 翻訳



採点のe-learning tool



協力：日本診療情報管理学会